

## 地産地消と食品ロス削減の推進

～ 食べ物を大切にして、大きな災害に備えましょう ～

千葉農業事務所企画振興課

令和3年12月22日 発

12月は、千葉地域（千葉市、習志野市、市原市及び八千代市の4市）の主力農作物である、ダイコンやニンジンといった秋冬野菜が豊富に出回る月です。

そこで、千葉農業事務所は、12月9日（木）に千葉市千城台コミュニティセンターで開催された親子体操の参加者に対して、千葉市産のお米「粒すけ」と市原市産の鶏卵を紹介しました。

一方、日本では「食品ロス」（食べられるのに捨てられている食品）が、年間約570万トン発生しており、そのうち約半分が家庭から発生していることを説明し、その削減方法について紹介しました。

また、レトルトカレーを教材にして、一昨年に県内に大きな被害をもたらした「令和元年房総半島台風」などの自然災害に備えるために、普段から日持ちの良い食料を自宅に備えるようお願いしました。

参加者の皆さんは熱心に聞いてくださいました。

